

経済・金融 フラッシュ

貿易統計 13年7月 ～貿易赤字が再び拡大

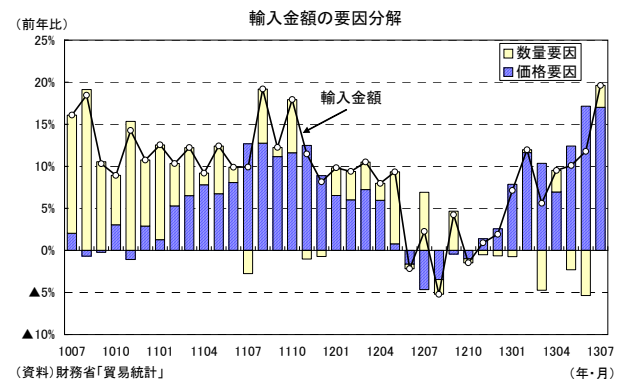
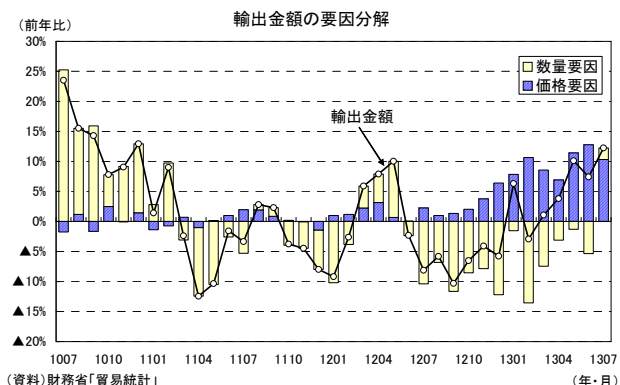
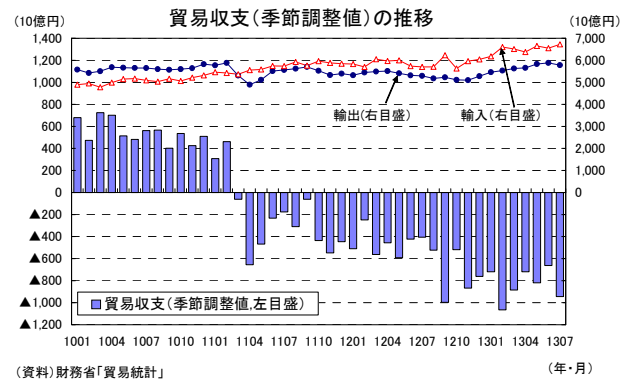
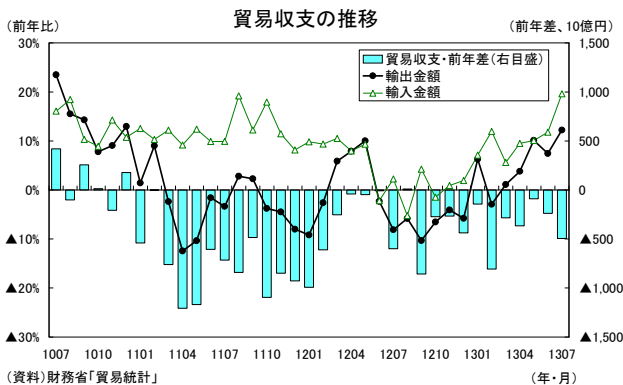
経済研究部 経済調査室長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 貿易赤字(季節調整値)が再び拡大

財務省が8月19日に公表した貿易統計によると、13年7月の貿易収支は▲10,240億円と13ヵ月連続の赤字となり、赤字幅は事前の市場予想(QUICK集計:▲7,800億円、当社予想は▲8,148億円)を大きく上回った。輸出は6月の前年比7.4%から同12.2%へと伸びを高めたが、輸入の伸びが6月の前年比11.8%から同19.6%へと大きく高まったため、前年に比した貿易収支の悪化幅は前月よりも拡大した。

なお、貿易統計は本日発表された13年7月分から貿易指数(輸出入に関する金額指数、価格指数及び数量指数)が2005年基準から2010年基準に改定されたが、長期系列の公表は8/29になる。このため、今回のレポートでは2012年7月までは旧基準(2005年基準)の指数、2012年8月以降については、本日公表の速報資料に掲載されている新基準(2010年基準)の過去1年分の伸び率によって旧基準の指数を延長して用いている。



輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比 1.8% (6 月：同▲5.0%)、輸出価格が前年比 10.2% (6 月：同 13.1%) であった。輸入の内訳は、輸入数量が前年比 2.4% (6 月：同▲4.9%)、輸入価格が前年比 16.8% (6 月：同 17.6%) であった。

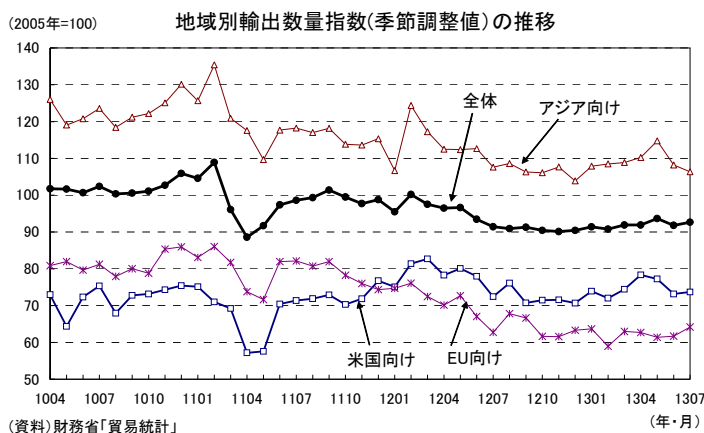
季節調整済の貿易収支は▲9,440 億円と 29 ヶ月連続の赤字となり、赤字幅は 6 月の▲6,632 億円から拡大した。輸出が前月比▲1.8% (6 月：同 0.9%) と 8 ヶ月ぶりの減少となる一方、輸入が前月比 2.7% (6 月：同▲1.5%) と 2 ヶ月ぶりの増加となった。四半期平均の貿易赤字 (季節調整値) は 13 年 1-3 月期の▲8,896 億円から 4-6 月期には▲7,336 億円へと縮小したが、7 月には再び赤字が拡大する形となった。輸出は基調としては持ち直しの動きを続けているが、国内需要が堅調に推移していることに加え、ここにきて原油高が進んでいることが輸入金額を押し上げている。貿易赤字の拡大傾向には歯止めがかかりつつあるが、縮小ペースは当面は緩やかなものとどまる可能性が高い。

2. EU 向け輸出が持ち直し

7 月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 0.5% (6 月：同▲6.3%)、EU 向けが前年比 1.9% (6 月：同▲8.4%)、アジア向けが前年比▲1.6% (6 月：同▲4.0%) となった。季節調整値 (当研究所による季節調整値) では、米国向けが前月比 0.7%、EU 向けが同 4.0%、アジア向けが同▲1.7%、全体では同 0.9%となった。

景気が堅調に推移する米国向けが自動車を中心に好調を維持しており、4-6 月期に 7 四半期ぶりにマイナス成長を脱した EU 向けも持ち直しつつあるが、アジア向けはやや低調な動きとなっている。

ただし、前述したとおり今回の輸出数量指数は旧基準の指数を直近 1 年間の新基準指数の伸び率で延長した暫定的なものを用いており、正確な基調判断をするためには 8/29 の長期系列の発表を待つ必要がある。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。